



平成 22 年 11 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社ダイフク
代表者名 代表取締役社長 北條 正樹
(コード番号 6383 東証・大証第 1 部)
問合せ先 常務取締役経財本部長 猪原 幹夫
(TEL. 06-6472-1261)

業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

平成 22 年 8 月 12 日に公表しました平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 22 年 4 月 1 日～9 月 30 日）の業績予想と実績に下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異（平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期 純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	77,000	△1,800	△1,900	△2,000	△18.07
実 績 値 (B)	73,956	△753	△778	△1,178	△10.65
増減額 (B - A)	△3,043	1,046	1,121	821	7.42
増減率 (%)	△4.0	-	-	-	-
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	73,288	△782	△946	41	0.38

2. 差異の理由

当社グループを取り巻く事業環境は依然として厳しく、受注は昨年度よりも回復しているものの、売上はなお低い水準が続いております。しかしながら、利益面では、受注回復に伴う工場操業度の向上、全社的な間接経費削減、コストダウン、プロジェクト管理徹底などが奏功し、平成 22 年 8 月 12 日公表の予想値を改善することができました。報告セグメント別では、株式会社ダイフクは回復途上ですが、株式会社コンテック、JERVIS B. WEBB COMPANY、DAIFUKU AMERICA CORPORATION は先行して回復基調となっています。また、韓国やタイなどの海外子会社も業績に寄与しました。

以 上